



VOL.3 NO.1

The University of the Ryukyus Library Bulletin

1969. 2. 28

昭和41年度国立大学図書館の実態

文部省大学学術局情報図書館課のまとめた「昭和41年度大学図書館実態調査の結果について」が学術月報（1968年9月）に公表されている。主として国立大学図書館の実態を対象に抜萃した。

最近10年間における大学図書館の推移

区 分	実 態	比 率 (昭和32年度を100として)	
1) 学 生 数	226,188人	138	
2) 図 書 館 職 員 数	2,384人	143	
3) 蔵 書 数	24,960千冊	145	
内 訳	和 書	16,018千冊	143
	洋 書	8,942千冊	149
4) 学 生 用 閱 覧 座 席 数	23,746席	113	
5) 学 生 当 り 蔵 書 冊 数	93.8冊	105	
6) 閱 覧 座 席 率 $(\frac{4}{1} \times 100)$	8.9%	81	
7) 図 書 館 職 員 当 り 蔵 書 冊 数	10,474冊	101	
8) 図 書 館 職 員 当 り 学 生 数	111.7人	97	
9) 大 学 数	73校	101	

結果の概要

A) 蔵書数

大学の新設の条件を除けば10年間で、およそ平均して50%増である。

B) 学生数

昭和41年度は学生数の急激に増加した年であるため学生数の伸長に見合うべき蔵書冊数、閲覧座席数及び図書館職員などの増加度が学生数の増加度に比していずれも下回っている。

C) 図書館長及び分館長の設置状況

国立大学ではすべて兼任である。専任館長及び分館長は国、公、私立総数の3%にとどまっている。

D) 図書館の職員

イ) 総数2869人(約48%)、そのうち臨時職員は485人(16.9%)である。

ロ) 学歴別にみると大学卒が22.5%で公私立大学図書館に比較してかなり低下している。

ハ) 性別には男子が52%、女子が48%、ところが役付職員を除くと逆の現象となる。

ニ) 年令別構成 21~35才(56.2%)、36~45才(18%)、64才~(0.3%)

E) 施設

イ) 学生用閲覧室の座席数は9.1%、現行「大学設置基準」に定められる5%を上回っているが、学生数は定員を基礎にしているので、これを現員で算出すると8.9%となる。しかし、昭和40年3月に大学基準等研究協議会の「大学設置基準改善要項」(答申)に示される10%にはばるかに及ばない。

ロ) 書庫は鉄筋コンクリート造りが総面積の71.4%を占めているが、資料保存に好ましくない木造のものが18.8%も占めている。

F) 経費

イ) 昭和40年度大学図書館の総経費(図書館資料費+運営費)は34億94500万円、一大学当たり平均総経費は4千700万円(約13万弗)である。

ロ) 図書、雑誌等の図書館資料の購入経費は、一大学当たり平均34,900万円、この経費の大学総経費(人件費は除く)に占める比率は6.6%を示す。

G) 蔵書構成

イ) 和書1602万冊(64.2%)、洋書894万冊(35.8%)合計2496万冊となる。

主題別構成率では、総記9.8%、哲学6.7%、歴史9.1%、社会科学21.0%、自然科学17.9%、工学9.4%、産業7.8%、芸術3.2%、語学3.6%、文学9.8%、その他1.7%

ロ) 一大学当たりの平均蔵書冊数は33万14冊、学生一人当たりの平均蔵書冊数は94冊となっている。

ハ) 所蔵雑誌の種類数(重複を含む)一大学当たりの平均所蔵雑誌数5218種、学生一人当たりの平均所蔵雑誌種類数は1.6種となっている。

H) 図書・雑誌の受入れ数

イ) 一大学当たり平均図書の受入れ数は1万6千冊である。

ロ) 一大学当たり平均雑誌の受入れ数は2850種である。

I) 奉仕状況

イ) 図書館平均年間閲覧日数は283日、そのうち休日開館実施している図書館は17館(総数399館室の5.5%)

- ロ) 学生に対する閲覧方式、一部開架方式を採用しているのが55%、開架方式を採用しているのが27%
- ハ) 参考業務は52大学が実施しているが一日平均利用回数は17件、しかし利用件数が必ずしも業務の質と量をあらわしているものではない。

J) 利用状況

- イ) 昭和40年度の館内閲覧及び館外貸出を含む利用冊数は一大学当り一日平均341冊を196人が利用している。しかし利用統計が不整備であるため実際はこの数を相当上回るものと考えられる。
- ロ) 指定図書制度を実施しているのは、53大学、館内閲覧及び館外貸出を含む利用冊数は一大学当り一日平均28冊となっている。 (文責 参考司書・新城)

資料解題

Silberman, Bernard S. Japan and Korea: a critical bibliography.

Tucson, Univ. of Arizona Press, 1962. 120p. 28cm.

日本朝鮮関係学術文献について内容に優れ利用の容易な論文を選択し解説を加えた目録を提供し研究の参考に資することがこの目録編纂の趣旨である。このため他の目録に見られるように著者名や標題名のアルファベット順に記入を配列することを避け、先ず内容がより優れより信憑性に富む資料を先にし、それらの資料の中ではより容易に利用できる資料が先に配列されている。ただ歴史や政治・文学等のように時代が古い資料を先にし、それらの資料の中では、信憑性に富み利用により優れている資料を先にして便宜的に時代順配列を加味した分野も含まれている。そこには編集者の個人的な主観や経験が与って力があることは認められるが、一般に文献の出版年が新しいことがその文献の利用を保証する目安にはなっていないということは言えるようである。

この目録には1959年～1961年に至る3年間にアリゾナ大学図書館によって受入れられた資料が収録され、さらにそれらの資料の利用・入手の可能性に対するある指標が提示されているので、日本朝鮮関係欧文文庫を設置するにはどの範囲まで資料を収集することが出来るかという命題について、この目録はその手引書にもなっている。何れにしても日本朝鮮研究分野において単一特定の主題だけに限定して、関連する一切の欧文資料を収録することは個々の分野からの要請に応えるため理想的ではあっても、そのような目録を編集するためにはかなりの困難を伴うであろう。この目録は多面的蔵書目録の性格を備えた良心的な書として推奨したい。またこの目録には副本も数多く収録されているが、それはそれぞれの関連分野において広く参照して資料の持つ有効性を高めることに意義がある。

この目録は本体を日本及び朝鮮関係に大別し、それぞれの中を政治・経済・社会・教育・歴史・宗教地理・言語・芸術・文学等の主題別に構成している。各主題の冒頭には注が付され、さらに巻末には著者索引を加えている。収録された論文は1,933点(副本共)を数えている。編集者 B.S. Silberman はアリゾナ大学東洋研究委員である。

なお、参考文献につきのような図書がある。

(参考司書 山城)

1. 025-YA Yabuki, Katsuji, comp. Japan bibliographic annual, 1956. Tokyo, Hokuseido, 1956. 318p. 22cm.
2. 370. 3-EE Eells, Walter Crosby, comp. The literature of Japanese education, 1945-1954. Hamden, Conn., Shoe String Press. 1955. 210p. 24cm.

講座科目別目録

第1回 人文地理学関係 (3)

地 222 人文地理概説 I

1 工業地理・立地

荒川 秀俊	工業気象	地人書館 昭. 26	502.9-A63
今村新太郎	地下資源と工業	柳原書店 昭. 26	502.9-I 44
川西 正鑑	工業立地の研究	日本評論社 昭. 14	502.9-K a 96
川西 正鑑	工業立地論	千倉書房 昭. 12	502.9-K a 96
Otremba, Erich	一般工業地理学	朝倉書店 昭. 32	502.9-O86
内田 俊一	資源とエネルギー	日刊工業新聞社 昭. 35	502.9-U14
山本 正雄	日本の工業地帯	岩波書店 昭. 35	502.9-Y31

2 鉱業地理

日本鉱業会	鉱業便覧	日本鉱業会 昭. 16	560.36-N77
	本邦鉱業の趨勢	通商産業調査会 昭. 16	560.36-H85
片山 信夫	鉱物資源便覧	大地書院 昭. 12	561.036-K a 84
	日本地方鉱床誌	9 朝倉書店 昭. 36	561.11-N77

関連分野

人文地理学	290.1
経済地理	332.9

新聞紙上に紹介された「琉大図書館」の足あと (2)

- 志喜屋図書館へシカゴから同胞十三氏が三万円寄附 (沖タ 1955. 9. 24)
- 志喜屋図書館献納式 (琉新〔夕〕1955. 12. 10)
- 大学祭・志喜屋図書館献納式 (沖タ 1955. 12. 11)
- 威容誇る志喜屋図書館「大学の心臓部」花やかに献納式 (沖タ 1955. 12. 12)
- 志喜屋図書館の内容 (沖タ〔夕〕1955. 12. 15)
- 志喜屋図書館の美化作業始まる (沖タ 1955. 12. 29)
- 葉草に関する沖縄古文獻 南風原博士が琉大へ寄贈「質問本草」 (琉新 1956. 1. 12)
- 志喜屋図書館を讀う〔早瀬 昭〕 (琉新 1956. 1. 23)
- 志喜屋図書館の使命〔奥里将建〕 (沖タ〔夕〕1956. 3. 30~4. 2)
- 琉大志喜屋図書館焼く 四・五階を全焼 (沖タ〔夕〕1956. 9. 3)
- 志喜屋図書館の出火原因まだ不明 (琉新 1956. 9. 4)
- 志喜屋図書館 漏電・失火原因追求 (沖タ 1956. 9. 4)
- 取調べ進む琉大図書館出火事件 (沖タ〔夕〕1956. 9. 4)
- 琉大図書館出火の教えるもの、ビルに届かぬ放水 (沖タ 1956. 9. 5)
- 琉大図書館、不完全な乾燥器が因 (沖タ〔夕〕1956. 9. 5)
- ふるさとの素顔 琉大の図書館 (沖タ〔夕〕1956. 10.15)
- 琉大図書館 希望レポ 二月までには復旧 (沖タ〔夕〕1956. 10. 20)
- 琉大図書館復旧工事始まる (琉新 1956. 11. 3)
- 琉大へ図書贈る ハワイ大学から六百冊 (沖タ 1956. 11. 16)
- 琉大志喜屋図書館へ 本社扱いの復興義金伝達 (琉新 1956. 11. 24)
- 琉大へ洋書 ライカム輸送部隊員から (琉新 1956. 11. 25)
- ハワイ大学教授 ゾンダース博士から琉大に図書寄贈 (琉新 1956. 11.16)
- 民政府公安部長 ホール、H. スキューズ氏志喜屋図書館に書籍贈る (琉新 1956. 12. 5)
- 復旧急ぐ志喜屋図書館 (琉新 1956. 12. 11)
- 琉大図書館焼く今年の十大ニュース (琉新 1956. 12. 23)

(註) 「沖タ」—「沖縄タイムス」の略 「琉新」—「琉球新報」の略